

殿

# 骨材試験報告書

令和 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_

工事場所 \_\_\_\_\_

製品名 \_\_\_\_\_

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





## 骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和8年2月13日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和8年2月13日
試験日		令和8年2月14日 ~ 令和8年3月31日

試験体種類	産地
粗骨材	5号碎石(S-20) 福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.04
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.2
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.56
		実積率 %	58.2
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.71
		絶乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.68
		吸水率 %	1.06
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	13.2
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.9
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5308	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		赤澤 駿介	

<試験実施場所> ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

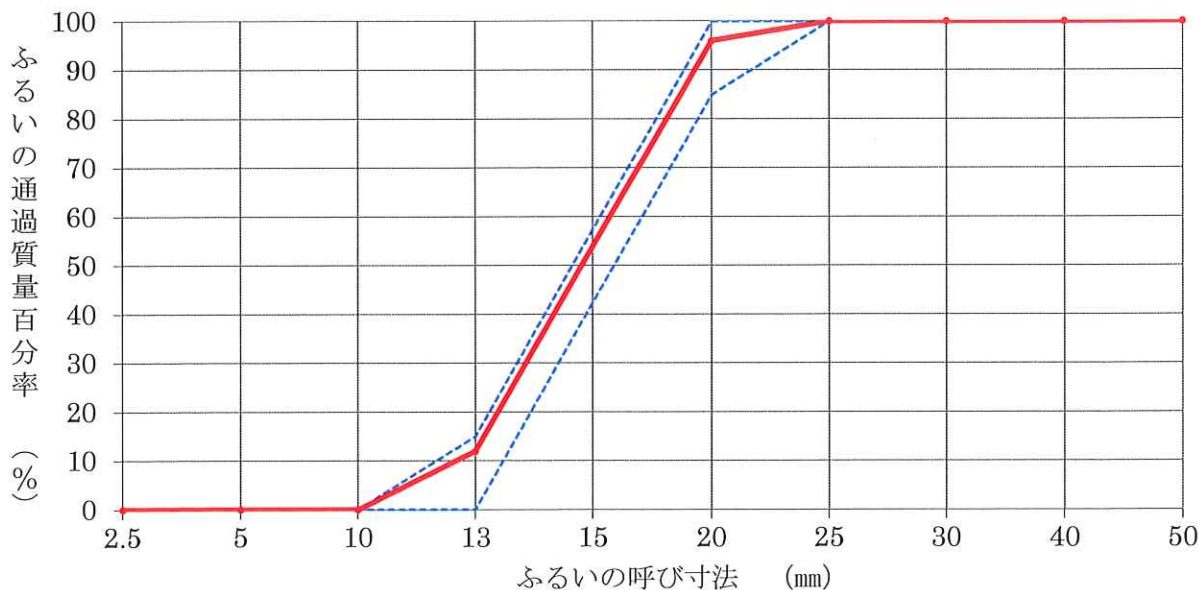
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験 (粗骨材)

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日	令和 8 年 2 月 18 日			
試料	種類	5号砕石(S-20)	最大寸法	20 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	4672	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	177	4	4	96
(15)	1838	39	43	57
(13)	2087	45	88	12
10	539	12	100	0
5	9	0	100	0
2.5	4	0	100	0
受け皿	16	0	100	0
合計	4670	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.04	粗粒率	7.04	

粒度曲線図



試験規格： JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材			
試 験 日		令和 8 年 2 月 17 日	
試 料	種 類	5号砕石(S-20)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 8 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	$m_1$	2390.9	2250.1
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	$m_2$	2386.1	2244.8
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.2	0.2
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	0.2	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 31 日	
試料	種類	5号砕石(S-20)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.239	22.215
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	15.539	15.515
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.56	1.56
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.56	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.68	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	58.2	

試験規格 JIS A 1110

## 粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 2 月 26 日	
試料	種類	5号砕石(S-20)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	$m_1$	2277.8	2368.8
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	$m_2$	1838.2	1895.4
	金網かごの水中質量 (g)	$m_3$	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 ( $g/cm^3$ )	$\rho_w$	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $g/cm^3$ )	$D_s$	2.71	2.71
	2回の試験の平均値 ( $g/cm^3$ )	$\bar{D}_s$	2.71	
平均値からの差 (規格値:0.01 $g/cm^3$ 以下)		0.00		
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	$m_4$	2253.8	2344.2
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $g/cm^3$ )	$D_d$	2.68	2.68
	2回の試験の平均値 ( $g/cm^3$ )	$\bar{D}_d$	2.68	
	平均値からの差 (規格値:0.01 $g/cm^3$ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.06	1.05
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.06	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 ( $g/cm^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $g/cm^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $g/cm^3$ )
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

## ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日		令和 8 年 2 月 19 日					
試料	種類		5号砕石(S-20)				
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字				
	採取日		令和 8 年 2 月 13 日				
	採取場所		骨材堆積場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の各群の質量 (g)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)	各群にとどまるもの質量 (g)	質量百分率 (%)				
				A~G	6~12	500または1000	m <sub>1</sub>
2.5	—	16	0				5000
5	2.5	4	0				
10	5	9	0				
15	10	2626	57				
20	15	1838	39				
25	20	177	4				
40	25	0	0				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		4670	100	H	10	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m <sub>2</sub>	4341			
すりへり損失質量		m <sub>1</sub> - m <sub>2</sub>	(g)	659			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		13.2 (%)			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験 (粗骨材)

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材							
試 験 日				令和 8 年 3 月 10 日			
試 料		種 類		5号碎石(S-20)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 8 年 2 月 13 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{① \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	$m_1$	$m_2$	$P_1$	(%)
10	5	9	0	—	—	3.5	0.0
15	10	2626	56	511	493	3.5	2.0
20	15	1838	40	756	721	4.6	1.8
25	20	177	4	1019	985	3.3	0.1
40	25	0	0	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		4650	100	—	—	—	3.9

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材				
試 験 日		令和 8 年 2 月 25 日		
試 料	種 類	5号砕石(S-20)		
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採 取 日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採 取 場 所	骨材堆積場		
試験前の試料の乾燥質量	(g)	$m_{D1}$	2191	
試験後の試料の乾燥質量	(g)	$m_{D2}$	2191	
粘土塊量 =	$\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.00

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

